

3月上旬配本予定

ファンから参加者になるための、「人」と「本屋」の  
インタビュー誌『HAB』創刊！

# HAB Human And Bookstore 「新潟」

(通算1号、不定期刊)

## 本屋鼎談

佐藤雄一(北書店) × 内沼晋太郎 × 石橋毅史  
「——だからやる。それ以外はなんでもいいんですよ」

## 本屋鼎談延長戦—これからの街の本屋

内沼晋太郎

## まちをのこすのに本ができること

小林弘樹(『LIFE-mag.』発行人)  
「——身近な人たち。それなら読者も玄関を出て気軽に会いにいきますよね。」

## 本屋を続けていくために

諸橋武司(本の店 英進堂)  
「——お客さんが答えを持ってるんですよ。本屋がそれを聞き取れるかどうか。」

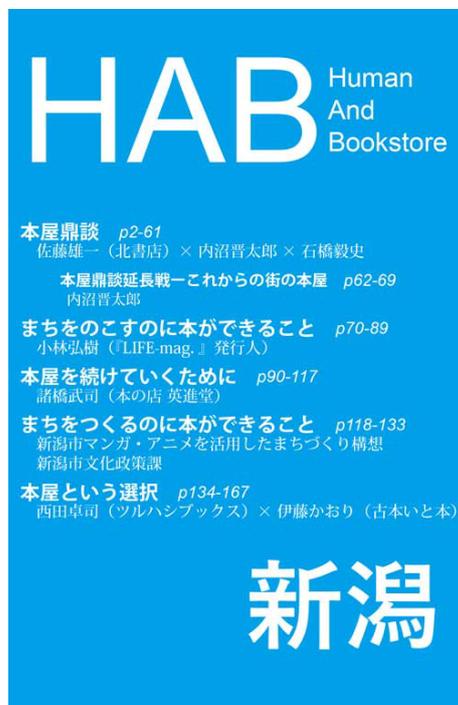
## まちをつくるのに本ができること

新潟市マンガ・アニメを活用したまちづくり構想  
新潟市文化政策課  
「——漫画家やクリエイターが新潟で描き続けられるようにしたいんです。」

## 本屋という選択

西田卓司(ツルハシブックス) × 伊藤かおり(古本いと本)  
「——やり方はもっと自由でいいと思います。だれでも本屋ははじめられるんですよ。」

本体1200円  
168頁  
四六判変型(116×180)並製  
ISBN978-4-9907596-0-5  
C0095



「持続可能な本屋」ってなんだろう。

物流、利益率。それはもちろん大切。でも、その本質は全て「人」ではないか。出版業界という全体像の先にある、その全ての個別事例＝「人」。人に迫る事で、見えてくる未来があると信じています。

『HAB』創刊号では、「新潟」というまちを舞台に、40坪の小さな本屋、240坪の中規模店、新規開業の本屋、雑誌の作り手、マンガでまちづくりをすすめる新潟市まで、本に関わる多様な人々を、紹介の枠にとどまらないロングインタビューで収録しました。本気で出版流通の未来を考えていた「元取次社員」が、今度は本気で本屋の未来を考えた、実践するためのリトルプレスです。

▶ご注文はツバメ出版流通まで

FAX: 03-3721-1922

TEL:03-6715-6121 <http://tsubamebook.com>  
mail:info@tsubamebook.com

貴店名(番線印)	新刊	エイチアンドエスカンパニー	<a href="https://www.facebook.com/HAB.mag">https://www.facebook.com/HAB.mag</a>
			返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通:川人
ご担当: 様	冊	<h1>HAB 「新潟」</h1> <p>本体1200円 168頁 四六判変型(116×180)並製</p> <p>ISBN978-4-9907596-0-5 C0095</p>	